

平成30年12月20日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部広報・渉外課

「日本語×IT インターンシップ」第2期生修了式の開催について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、バングラデシュにおける JICA 事業「Bangladesh-Japan IT engineers Training (B-JET)」の3ヵ月の研修を経て、この10月より本学に留学した11名のバングラデシュ留学生が、この12月末を以て、本学での3ヵ月短期留学「日本語×IT インターンシップ」を修了し、地域のIT企業などへ就職いたします。この節目として修了式を開催することとなりました。本件は、全国的にも珍しい産学官民連携の宮崎独自の活動「宮崎-バングラデシュモデル」の一環であり、本修了式は、その学習課程を修了し、これから地域で働き始めるバングラデシュ人IT技術者らの門出でもあります。

昨今議論されている外国人材導入の話題に関して、一般の皆様のご関心も高いことと存じます。

つきましては、当日取材していただきますようお願いいたします。

敬具

記

開催日時 12月21日(金) 10:00開始 12:00終了  
場 所 宮崎大学 まちなかキャンパス  
次 第 10:00開会 挨拶 伊丹 利明 宮崎大学副学長(国際連携)  
10:10修了証書 授与  
10:25受入企業 ご紹介  
10:40祝辞 「バングラデシュにおける宮崎-バングラデシュモデルへの期待」  
アブドゥル・シェイク・マヒン氏 Manager Director, BacBon Limited  
10:50特別講演(日本語)  
「バングラデシュ人が日本で直面する文化の違いと課題 ～受入れに向けて～」  
アラム モハメッド アンサルル先生 ダッカ大学現代言語研究所日本語学科長  
11:40修了生 抱負  
11:55閉会

以上